

(対象事業：先進的な展示・教育普及手法の開発等の事業)

事業名：『回想法』：ITを活用した高齢者対象
へのアプローチと出張美術館

事業者名：光記念館

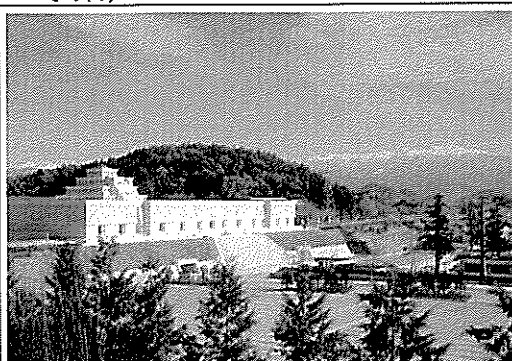
連携事業館名：市内近隣小・中学校、
老人ホーム、養護施設

住所：岐阜県 高山市 中山町 175

TEL：0577-34-6511

FAX：0577-34-6065

HPアドレス：<http://www.hikarukinenkan.or.jp/>



光記念館外観と北アルプス連峰

①施設概要

光記念館は、光をテーマに平成11年4月8日、飛騨高山にオープンした博物館・美術館複合型のミュージアム。近・現代の日本画・書等を展示する美術展示室、飛騨地方から産出される化石・岩石を中心に、飛騨の歴史と自然史等を紹介する飛騨展示室、マヤ・アンデスを主にした世界の諸文化の遺物と日本の縄文時代の出土品等を展示する人類史展示室などから構成されている。

②事業の意図目的

- ・社会福祉施設事業の支援として、社会福祉施設に当館の美術品を持ち込み、本物の美術作品に触れて頂き、優れた美術品から感動や喜びを体験して頂く為。
- ・老人ホームでITを活用した資料紹介をし、回想法によって認知症防止に役立つ為
- ・学校における総合学習の時間の支援として、小・中学校に当館の美術品を持ち込み児童・生徒に本物の美術作品に触れて頂き、優れた美術作品から感動・喜びを体験して頂く為。
- ・芸術作品を通して芸術文化に触れることにより、和やかな心と豊かな感性を養って頂く為。

③事業概要

- ・本物の浮世絵版画、葛飾北斎の「富嶽三十六景」と歌川広重の「東海道五十三次」を館外各施設へ持ち出し、観賞して頂くと共に解説をする事で、社会福祉・教育普及活動を行う。
- ・老人ホームに関しては、ITを活用して通常会場に持ち込めない実物資料を（昭和20～30年代の道具たち）の画像を見て頂き、それらの資料について高齢者がご存知な事を話して頂く。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物：パワーポイント用ソフト
作成した報告書等：報告書（冊子）

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 1,262人

内 訳 老人ホーム入所者：115名、 特別養護センター入所者：20名、
小学生合計： 1,127名
（1年生：12名、2年生：14名、3年生：12名
4年生：11名、5年生：71名、6年生：631名）

(1) 事業の実施状況について

○本物の浮世絵版画、歌川広重の「東海道五十三次」を館外各施設に持ち出し、鑑賞して頂くと共に解説をする事で、社会福祉・教育普及活動を行った。

○老人ホームに関しては、上記の内容と共に、ITを活用して通常会場に持ち込めない実物資料（昭和20～30年代の道具たち）の画像を見て頂き、それらの資料についてお年寄りをご存知な事を話して頂いた。



高山市立 南小学校



身体障害者療護施設 飛騨うりす苑

(2) 地域との連携について

高山市内の全小・中学校と当館所蔵化石資料の産地という関係で日頃から御協力を頂いている荘川村の小・中学校、及び4つの社会福祉施設に出張美術館のご案内をさせて頂いた。利用を希望してこられた全ての学校・施設に出向いて担当の職員と打ち合わせをし、先方の希望を汲み取った内容で開催した。

(3) 成果物について

特になし

(4) 参加者の反応

老人ホーム

○高齢者が大変喜んでいらした。

○ I Tを活用した回想法が思った以上に好評で、ほとんどの方が知っている（馴染みの）物の静止画が映し出された際など、拍手や歓声が上がるほどで、会場内が活気に満ちていた。

○ある介護士の方からは、「高齢者の方々は、歌川広重よりもむしろ『懐かしい道具たち』の方に反応していたように見受けられた。」とのお声を頂いた。

小・中学校

○小学校5年生の美術の教科書と、6年生の社会の教科書に歌川広重の「東海道五十三次」のことが掲載されており、教科書に出てくる作品の本物が見られたということで、先生からも児童・生徒からも大変喜んで頂けた。

○子供たちの感動・感激は思った以上に大きかった。（本物から得る感動は大きい。またそれは、適切な解説を伴うことによりさらに深まるものである。）

○多色刷り版画の摺り体験がどの学校にも大変好評だった。多色摺りの行程が理解し易かったようである。昨年は葛飾北斎『富嶽三十六景』の「凱風快晴」を模したハガキサイズの版画だったが、今年は途中から（当館職員による制作が間に合った時点から）「神奈川冲浪裏」を模した B4 サイズの版画に切り換えた。図柄や大きさに迫力があり、摺り終わった作品を皆が欲しがった。1 グループで1枚を摺り上げた為、どの学校でも児童たちが誰の所有物にするかをジャンケンで決めている光景が見られた。

○ただ綺麗に摺ればよいというのではなく、自由な発想で自分たちのグループ独自の版画を摺るように勧めた。出来上がった版画を並べて他のグループのものと比較させたが、どれがいい悪いという評価をするのではなく、同じ版木を用いても摺る人の違いで違った仕上がりになるということを見比べてもらったところ、先生から「摺り上がった全ての作品の良いところを認めて下さったのが良かった。」と言って頂いた。

○複数の教員から、「解説も体験学習用の版画も昨年よりバージョンアップした。」との
お声を頂いた。

○中学生はこちらの質問に対する反応は少ないが、ほとんどのアンケート用紙には、画家
の事や、江戸時代の人びとの生活や様子について、絵画からいろいろな事が学べるとわ
かり、大変興味を持ったと書かれていた。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

老人ホーム

○それまでうつらうつらされていたある老女の顔の近くに浮世絵版画を持って行って
お見せした所、その方はパッチリと目を見開いて凝視され、「いいねえ!これいいね!」
を連発された。

○回想法で、道具などの静止画が映った際「これについてご存知の方、教えてください。」
と問い掛けると、詳しいことをご存知の高齢者が、懐かしげにいろいろとお話下さっ
た。

○介護士の方から「回想法のCDをお借りしたい。」との依頼を受け、お貸しした。

小・中学校

○アンケート調査の結果、出張美術館後は全ての学校において、児童・生徒の浮世絵に対
する興味が高まっている事がわかった。

○当館に来館されたことのない子供たちから、「光記念館に行って作品を見てみたい。」
との声が聞けた。また、日頃自ら美術館足を運んで絵画を鑑賞するという事をしな
いとおっしゃる親御さんが、授業参観で出張美術館をご覧になり、「貴重な体験をさ